

「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」選定の評価に係る提出書類（募集要領7－（2）③参照）

【提出書類の準備にあたっての注意事項】

- 「評価項目」及び「評価項目を確認するための提出書類」を準備する際に、下表で示す「評価の視点」で評価されることをご確認の上、評価項目・評価の視点に合致した書類を準備してください。
- 下記「評価の視点」は、まとめシートや付属資料に基づいて評価をするに当たり、どのような視点から評価するのかを示したものです。申請書類作成上の参考として下さい。
- 個人情報が記載された資料の場合は、該当部分を適宜墨塗りするか削除してください（例えば会議の参加者を記載する場合は、所属団体及び役職名の記載のみとしてください）。
- 申請書類について、「又は」と記載がある場合はその中のいずれかの資料を、記載がない場合には原則として全ての資料を提出してください。
- ここでいう「当該プロジェクト」とは、「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」選定要綱第3条の2に該当する事業のことを指し、募集要項でいう「申請事業」と同義です。
- 令和2～4年度の「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」選定で「Ⅰ 構想・計画策定段階」若しくは「Ⅱ 設計・建設段階」として選定された団体のうち、「Ⅱ 設計・建設段階」若しくは「Ⅲ 運営・管理段階」に再度申請いただく場合は、すでに選定された段階の提出資料については提出いただかなくても構いません。

I 構想・計画策定段階

※ 2017年以降に「改修」したプロジェクトの場合には、当該改修に係る、以下の資料を用意してください。

	評価項目	評価項目を確認するための添付資料 (まとめシート及び付属資料)	評価の視点
1. ステークホルダー確認と検討・連携体制の整備			
	(1) 官民のステークホルダーの意見を適切に反映するため、当該プロジェクトに係るステークホルダーの範囲を確認し、それらの意見を反映できる検討体制を構築しているか。	① 事業の検討又は推進体制と役割を示した資料 ② ステークホルダーに該当する団体・個人との協議又は打合せの記録（日時、場所、参加者、協議概要の記載のあるもの）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該プロジェクトに係るステークホルダーを明確に認識しているか。 ・ 特定したステークホルダーとの意見交換の機会を適切に設けているか。 ・ ステークホルダーの意見を反映できる検討体制が確認できるか。
	(2) スタジアム・アリーナ整備をまちづくりと一体的に進めるため、地方公共団体のスポーツ振興担当部局のみならず、周辺インフラ等を含むまちづくり計画に関連する複数の部局との連携体制が構築されているか。	① インフラ等を含む、まちづくりに関連する部局との協議又は打合せ議事録（日時、場所、関連する部署名、参加者、協議概要の記載のあるもの）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携先として、地方公共団体のスポーツ振興担当部局のみならず、周辺インフラ等を含むまちづくり計画に関連する複数の部局が明示されているか。 ・ 各部局との具体的な連携体制、及びそのメンバーが明示されているか。 ・ 意見交換の機会を適切に設けているか。
2. スタジアム・アリーナ経営人材の活用			
	(1) 構想・計画段階から運営・管理を想定した実際的な検討を行うため、スタジアム・アリーナの運営・管理等に係る専門的知見又は経験を有する人材又は団体が検討体制に加わっているか。	① スタジアム・アリーナの運営・管理等に係る有識者、又は専門家等が事業の検討に加わっていることを示す検討体制図や委員名簿、又は有識者へのヒアリング記録 ② 専門的知見又は経験を有する人材の意見が反映された計画等の該当部分の提示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的知見または経験を有する人材または団体（以下、「有識者等」という）が具体的に明示されているか。 ・ 構想・計画段階からの検討体制に、有識者等が関わっているか。 ・ 有識者等から受けた知見が適切であること、及び、それらの知見の計画への反映が

	評価項目	評価項目を確認するための添付資料 (まとめシート及び付属資料)	評価の視点
			具体的に確認できるか(反映しなかった場合は、どのような理由からか)。
3. 顧客・利用者の把握と情報の提供			
	(1) スタジアム・アリーナの具体的な利用方法や用途を的確に想定するため、当該スタジアム・アリーナの顧客や利用者等を把握するための調査等を実施しているか。	<p>① 実施した調査の概要(調査対象、調査方法、調査結果概要等)を示す資料(利用方法や利用用途が複数想定される場合には、複数の想定に関する調査について提出すること)</p> <p><想定される提出資料の例></p> <p>a 当該スタジアム・アリーナを利用するプロスポーツ団体・チームへのヒアリング結果</p> <p>b 当該スタジアム・アリーナで導入が想定されるネーミングライツ等の権利ビジネスに係る調査結果</p> <p>c コンサート・イベント等の利用を想定する場合には、企画会社やイベンター、プロモーター等、誘致や企画を担う事業者へのヒアリング結果</p> <p>d その他、想定する利用に関する関係者へのヒアリング結果(例:アマチュアスポーツ団体や学校・教育関係の大会等主催者、地方公共団体の関係部署等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当該スタジアム・アリーナの顧客や利用者等を把握するための調査が実施されており、且つ、調査範囲の対象は適切か。 当該調査が、具体的な利用方法や用途の把握に資する調査となっているか。 権利ビジネス等による多様な活用を検討する調査が実施されているか。

評価項目	評価項目を確認するための添付資料 (まとめシート及び付属資料)	評価の視点
<p>(2) 潜在的な顧客や利用者の理解を得るため、当該プロジェクトに係る情報提供を戦略的に行っているか。</p>	<p>e (建替えや代替施設整備の場合) 旧施設を利用する競技団体や一般市民へのヒアリング、又はアンケート実施結果等</p> <p>① 当該プロジェクトについての情報提供を行っている資料 <想定される提出資料の例></p> <p>a 当該プロジェクトについての情報を公開する web ページの URL と、その中でプロジェクトの概要を示しているページ</p> <p>b 当該プロジェクトに係る説明会やシンポジウム開催の宣伝・案内チラシ</p> <p>c メディア掲載記事のスクラップ</p> <p>d 情報提供戦略について具体的な記載のある資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供の目的が明確となっているか。 情報提供の具体的な方法及び内容が示されているか。 情報を提供するターゲット、タイミング等について、戦略性が確認できるか。
4. 運営・管理に係る検討		
<p>(1) 運営・管理段階における中長期的な収支計画を策定するため、当該スタジアム・アリーナ整備後の運営・管理に係る中長期的な目標及び具体的な利用計画を検討しているか。</p>	<p>① 施設の運営・管理に係る中長期の目標</p> <p>② 具体的な利用計画 (想定施設稼働日数と稼働日の利用内訳 (営利・非営利等))</p>	<ul style="list-style-type: none"> 整備後の中長期的な目標 (数値目標) が示されているか。 中長期的な目標達成に向け裏付けとなる具体的な利用計画 (利用者、利用回数等) を検討し、示しているか。
<p>(2) スタジアム・アリーナにおける整備後の運営・管理の効率化を図るため、民間活力を最大限活用する手法の導入及び IT・データの活用を検討しているか。</p>	<p>① 民間活力 (PPP/PFI、指定管理制度等) を導入した事業手法の検討結果 (検討した事業手法比較と検討結果が明示されているもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 民間活力導入手法を比較・検討した内容と結果が示されているか。

	評価項目	評価項目を確認するための添付資料 (まとめシート及び付属資料)	評価の視点
		② IT の活用や、施設利用者・観客等から得られるデータの収集と活用の方法についての検討結果（活用の効果まで提示されていれば尚可）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設が民設民営によるものである場合は、民間ならではの創意工夫が発揮される点について、示されているか。 ・ 運営・管理への IT の効果的な活用を検討しているか。 ・ どのようなデータを収集し、活用する計画かが具体的に示されているか。
5. 収益性の検証と設計等への反映			
	(1) 構想・計画段階から運営・管理段階における収益性の確保を目指すべく、設計・建設段階又は運営・管理段階において民間活力の最大限の活用を図ることを前提としつつ、当該スタジアム・アリーナの整備方針と運営・管理段階における中長期的な収支計画を一体的に検討しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ① 整備方針（あるいはそれに類するもの） ② 資金調達方法（具体的な資金拠出者及び資金拠出への合意がわかるもの、利用を予定する各種補助金・支援策など） ③ 収支計画の前提（整備方針の反映がわかるよう、前提の根拠が示されているもの） ④ 施設整備期間を含む中長期の収支計画（施設の供用開始から15年以上、4の(1)①②や5の(1)①整備方針を反映した前提を明示して試算していることがわかること） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資金調達の目途が立っているか。 ・ 施設の整備方針と、運営・管理段階における収支計画の一体性が確認できるか。 ・ 一体的に検討したことで、整備方針または収支計画が、見直しがなされた場合には、その具体的な変更内容等が明示されているか。
	(2) 周辺地域への経済的・社会的効果の最大化を図るため、まちづくりとの連動又は景観との調和に配慮しているか。また、防災機能その他当該地域に不足する機能（小売販売、飲食、宿泊、福祉健康等）を提供できる付帯施設若しくは周辺施設の設置又は	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設設計に際し、予定地周辺の環境や景観への配慮についての検討結果 ② 周辺で不足している機能を充足させる付帯施設や、連携可能な周辺施設についての調査・検討結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりとの連携又は景観との調和に配慮した点について、具体的に明示されているか。 ・ 対象施設が当該地域においてどのような役割を果たすのかが示されているか。

	評価項目	評価項目を確認するための添付資料 (まとめシート及び付属資料)	評価の視点
	既存の周辺施設との連携を検討しているか。	③ 施設のイメージパースや、平面図等の図面及び設計、意匠の工夫を示す資料 ④ 周辺地域への経済的・社会的効果に係る検討資料	<ul style="list-style-type: none"> 対象施設（付帯施設等を含む）が、当該地域に不足する機能を補う或いは周辺施設との連携が期待されるものであるかが、具体的に明示されているか。
6. コンプライアンスとリスク管理			
	(1) 当該プロジェクトの遂行に当たって遵守すべき法令及び必要な手続を十分に把握しているか。	① 事業の推進に際し遵守すべき関係法令・条例一覧 ② 事業の推進に際し配慮すべき手続一覧	<ul style="list-style-type: none"> 遵守すべき法令や手続きを具体的に把握しているか。 法令・条例以外に留意すべき手続きを理解しているか（特に、民設民営による場合）。
	(2) 当該プロジェクトの実施主体間における適切なリスク管理を図るため、設計・建設段階及び運営・管理段階におけるリスクを把握し、リスク分担を検討しているか。	① 推進事業の実施に当たり、想定されるリスクと未然防止策・事後対応策の検討結果 ② 関係者間（地方公共団体と民間事業者（又は民間事業者同士））のリスク分担表	<ul style="list-style-type: none"> 設計・建設段階、及び運営・管理段階におけるリスクを具体的に把握しているか。 リスク別に分担を検討しているか（特に事業存続に影響を与える主要リスクについては最低限）。

II 設計・建設段階

	評価項目	評価項目を確認するための提出資料 (策定済み計画等の該当部分を示すことで可)	評価の視点
	<p>1. 構想・計画段階において、I.1.～6.の全ての事項を実施したか。</p> <p>※ 令和2年度、令和3年度の「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」選定で「I 構想・計画策定段階」として選定された団体のうち、「II 設計・建設段階」に再度申請いただく場合は、すでに選定された段階の提出資料については提出いただかなくても構いません。</p>	<p>① 「I 構想・計画段階」1.～6.の全ての事項を実施していることを証明するものとして、I.1.～6.で求める「評価項目を確認するための提出書類」を提出すること。</p> <p>② 2017年以降に改修したプロジェクトの場合には、2017年以降の改修についての、「構想・計画」に関する資料を提出すること</p> <p>③ また、構想・計画段階では現在と方向性が異なっており、現段階までに再検討した項目がある場合には、該当項目の提出資料において再検討の内容がわかる資料を提出すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Iの項目を参照。
	2. 顧客経験価値の向上		
	<p>(1) 構想・計画策定段階において既に策定された当該プロジェクトに係る構想・計画（以下「構想・計画」という。）に、顧客及び利用者の経験価値を向上させるための具体的な取組が盛り込まれているか。</p>	<p>① 策定済の基本構想・基本計画の中で具体的な取組が盛り込まれている該当部分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 構想・計画に、顧客及び利用者の経験価値を向上させるための具体的な取組が盛り込まれていることが、具体的に示されているか。
	3. 収益モデルの確立とプロフィットセンターへの変革		
	<p>(1) 構想・計画において、当該スタジアム・アリーナ単体がもたらす中長期の経済的・社会的効果とその投資額を上回る事が十分な実現可能性をもって説明されている</p>	<p>① 中長期収支計画資料及び当該プロジェクトの経済的・社会的効果について定量的に検討した資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当該スタジアム・アリーナ単体がもたらす中長期の経済的・社会的効果や、当該スタジアム・アリーナが周辺にもたらす中長期の経済的・社会的効果を検証しているか。

	評価項目	評価項目を確認するための提出資料 (策定済み計画等の該当部分を示すことで可)	評価の視点
	か。又は、その単体の効果と周辺地域にもたらず中長期の経済的・社会的効果の総和が当該プロジェクトに係る投資額を上回ることが十分な実現可能性をもって説明されているか。		<ul style="list-style-type: none"> 当該経済的・社会的効果が投資額を上回ることが根拠を持って説明されているか。
4. まちづくりの中核となるスタジアム・アリーナの実現			
	(1) 当該プロジェクトが単なる施設整備といった単体のプロジェクトにとどまるのではなく、構想・計画において、地方公共団体の関連する総合計画、都市計画（都市再生整備計画、立地適正化計画等）、地域再生計画、地域経済牽引事業計画等で示された当該エリア（周辺地域を含む。）全体の将来像の実現に寄与することが説明されているか。	① 左記に列挙している上位計画等において、当該プロジェクトについて、上位計画との関連が記載されている該当部分 又は、 ② 当該プロジェクトと左記に列挙している上位計画との関係性を示す資料	<ul style="list-style-type: none"> 構想・計画において、地方公共団体の関連する各種計画で示された当該エリア全体の将来像の実現に寄与することが、具体的に示されているか。
5. 多様な利用方法や用途の実装			
	(1) 運営・管理に係る具体的な利用計画を実現するために必要な施設仕様や設備に係る情報が構想・計画に盛り込まれるとともに、これが設計に反映されているか。	① 施設利用時のイメージパースや、平面図等の図面において、左記の点が反映されていることを示す資料 又は、 ② 構想・計画や設計において、左記の点が反映されている該当部分を抽出	<ul style="list-style-type: none"> 利用計画を実現するために必要な施設仕様や設備（例：機動的な動線や諸室の確保、配置等の工夫等）に係る検討がされていることが示されているか。 検討の結果が構想・計画に盛り込まれ、且つ、設計に的確に反映されている点について、具体的に示されているか（図面上でど

	評価項目	評価項目を確認するための提出資料 (策定済み計画等の該当部分を示すことで可)	評価の視点
	(2) 将来の顧客や利用者のニーズの変化に柔軟に対応するため、床や搬入口の構造等について、イベント等の準備や機材等の撤去を容易にするなどの工夫が構想・計画に盛り込まれるとともに、これが設計に反映されているか。	① 構想・計画や設計において、左記の視点からの工夫が盛り込まれている部分を抜き出した資料 又は、 ② 左記の視点以外に、将来の顧客や利用者のニーズに柔軟に対応するために工夫することが構想・計画、又は設計において反映されている部分を抜き出した資料	ここに反映されているか、具体的に示されていることが望ましい。 ・ 将来の顧客や利用者ニーズの変化に柔軟に対応するための工夫が確認できるか。 ・ 検討の結果が構想・計画に盛り込まれ、且つ、設計に的確に反映されている点について、具体的に示されているか（図面上でどこに反映されているか、具体的に示されていることが望ましい）。
6. 民間活力を活用した手法の採用			
	(1) 当該スタジアム・アリーナ的设计・建設段階又は運営・管理段階において民間活力を最大限活用するための具体的な手法が構想・計画に盛り込まれているとともに、事業スキームに反映されているか。	① 設計・建設段階又は運営・管理段階において民間活力を活用するための具体的な手法が、盛り込まれている構想・計画の該当部分の資料 又は、 ② 事業スキームにおいて、民間活力の活用が検討されていることを示す既存資料の該当部分	・ 構想・計画上で、民間活力を最大限活用するための手法が盛り込まれた箇所が、確認できるか。 ・ 上記を踏まえた事業スキームとなっているか。 ・ 施設が民設民営の場合は、民間が実施主体であることを最大限生かした事業スキームとその特長、公共と最大限連携する為の方策等が、説明されているか。
7. 多様な資金調達の実現			
	(1) 当該スタジアム・アリーナ的设计・建設段階及び運営・管理段階における民間資金の活用、民間の運営・管理者により大きな自	① 設計・建設段階又は運営・管理段階において、民間資金の活用、民間の運営・管理者により大きな自由度を与えることによる収益確保	・ 民間資金の活用について、構想・計画に盛り込まれ、事業スキームに反映されているか。

	評価項目	評価項目を確認するための提出資料 (策定済み計画等の該当部分を示すことで可)	評価の視点
	由度を与えることによる収益確保等のための方策が構想・計画に盛り込まれているとともに、事業スキームに反映されているか。	等のための方策が、盛り込まれている構想・計画の該当部分の資料 又は、 ② 事業スキームにおいて、民間資金の活用や、民間の運営・管理者に大きな自由度を与えることによる収益確保策が検討されていることを示す既存資料の該当部分	・ 民間の運営・管理者による自由度の向上とそれによる収益確保の方策が、構想・計画に盛り込まれ、事業スキームに反映されているか。

Ⅲ. 運営・管理段階

	評価項目	評価項目を確認するための提出資料 (策定済み計画等の該当部分を示すことで可)	評価の視点
	<p>1. 構想・計画段階において、Ⅰ.1～6の全ての事項を実施したか。</p> <p>※ 令和2年度、令和3年度の「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」選定で「Ⅰ 構想・計画策定段階」若しくは「Ⅱ 設計・建設段階」として選定された団体のうち、「Ⅲ 運営・管理段階」に再度申請いただく場合は、すでに選定された段階の提出資料については提出いただかなくても構いません。</p> <p>2. 設計・建設段階において、Ⅱ.2～7の全ての事項を実施したか。</p>	<p>① 「Ⅰ 構想・計画段階」1～6の全ての事項を実施していること、かつ「Ⅱ 設計・建設段階」2～7の全ての事項を実施していることを証明するものとして、Ⅰ.1～6及びⅡ.2～7で求める「評価項目を確認するための提出書類」を提出すること。</p> <p>② 2017年以降に改修したプロジェクトの場合には、2017年以降の改修についての、「構想・計画」「設計・建設」に関する資料を提出すること</p> <p>③ また、構想・計画段階、又は設計・建設段階では現在と方向性が異なっており、現段階までに再検討した項目がある場合には、該当項目の提出資料において再検討の内容がわかる資料を提出すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ⅰ.の項目を参照。 ・ Ⅱ.の項目を参照
3.	PDCA サイクルの実践		
	(1) 当該プロジェクトに係る中長期目標の達成のため、当該スタジアム・アリーナの運営・管理に係る短期目標を設定し、その達成状況を適正に評価するとともに、当該評価結果に基づき改善に取り組んでいるか。	<p>① 現状の運営・管理に係る手法を示す資料</p> <p>② 短期目標を設定し、その達成状況を評価するとともに、未達の場合の原因分析と、改善方策等を検討し、改善に取り組んでいることがわかる既存資料の該当部分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期計画の達成を見据えた具体的な短期目標（KPI等）を設定しているか。 ・ 設定した目標の達成状況を評価し、評価結果に基づき改善に取り組んでいるPDCAサイクルが提示されているか。

4. IT・データの活用		
(1) 当該スタジアム・アリーナの収益性及び運営・管理の効率性の向上を図るため、IT・データを有効に活用しているか。	① 収益性及び運営・管理の効率化の向上を図るために、IT・データを有効に活用するための運営・管理上の工夫をしていることがわかる既存資料の該当部分	<ul style="list-style-type: none">・ 使用する IT 関連ツールやデータ収集の方法が具体的に示されているか。・ これらの活用により、収益性や運営・管理の効率性等がどのように向上した（又はする）と確認できるか。・ 構想・計画段階での IT・データ活用と比較し、変更や更新があった場合には、それが理由と共に示されているとなお望ましい。